

神戸市の下水道事業 ～浸水対策事業について～

平成29年2月9日(木)
神戸市建設局下水道部

0. 神戸市の下水道事業



アクアプラン2020における基本方針と施策

● 安心して快適な市民生活と社会活動を支える

I. 膨大なストックの改築更新 II. 改築に併せた施設の耐震化

● 浸水に強い安全なまちづくり

I. 浸水対策事業の促進 II. 改築に併せた施設の能力増強

● 健全な水環境と循環型社会の実現の貢献

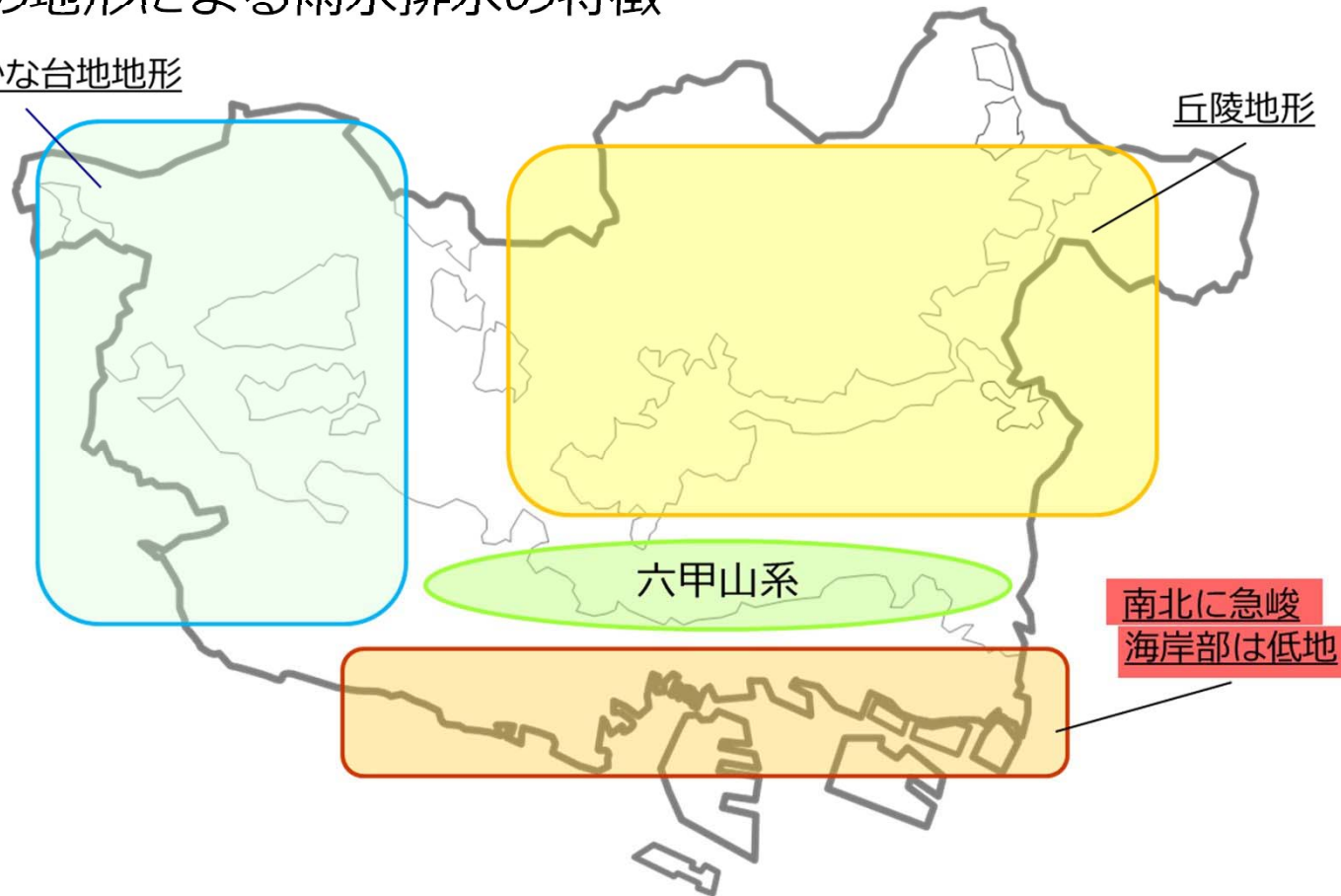
I. 高度処理の導入 II. 資源・エネルギーの有効活用 III. CO₂削減の取り組み

1. はじめに



①神戸市の地形による雨水排水の特徴

なだらかな台地地形



丘陵地形

六甲山系

南北に急峻
海岸部は低地

- ・市街地中心部（表六甲）では雨水排水上恵まれた地形である反面、豪雨が発生すると降雨は急流となり、短時間に大量の水が低地に集まる
- ・海岸部は低地であり、高潮の影響を受けやすい
- ・都市化が進み、雨水が地面にしみ込まず、地表を流れる

1. はじめに



②浸水被害

国道2号
海岸通5丁目付近



西区西河原地区

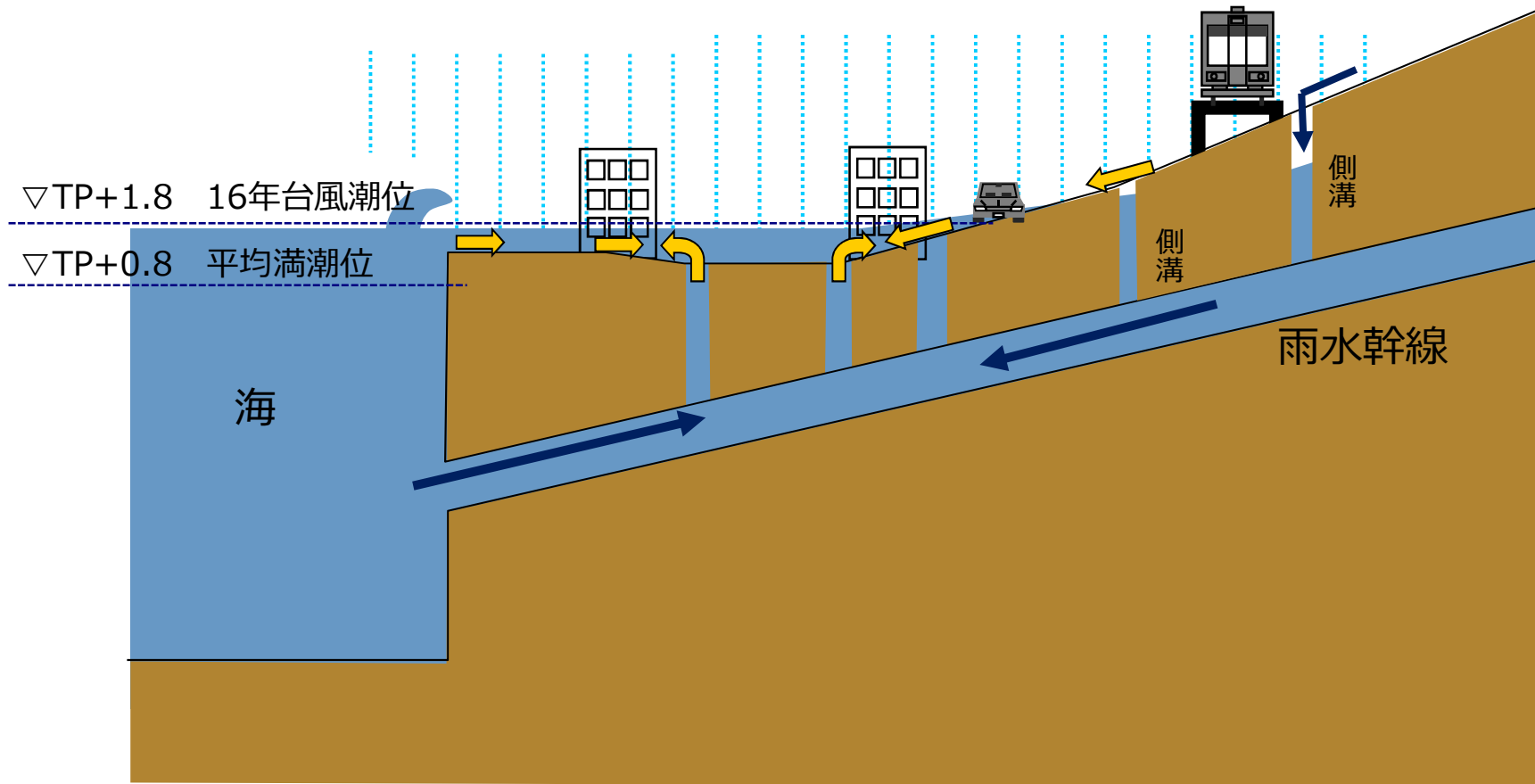


1. はじめに



③海岸部の低地盤地区の浸水原因

山側
(北)



海水面上昇により雨水幹線内を海水が逆流し、側溝等から溢水
降雨も雨水幹線の水位が高いため排出できず、広範囲で浸水が発生

2. 神戸市の浸水対策事業



①浸水対策事業の進め方

10年に1回程度発生する降雨に対して浸水が生じないことを目標に

- (1) 雨水排除能力を強化する**雨水幹線**の整備
- (2) 海岸部付近の低地域では外水位に関係なく雨水排除を可能とする**ポンプ場**の整備

を進めている。また、

- (3) 雨水を流出しにくくするための、**雨水流出抑制施設**の整備
- (4) 「自助・共助の促進による浸水被害の最小化」を目的とした**内水ハザードマップ**の公表

も同時に進めている。

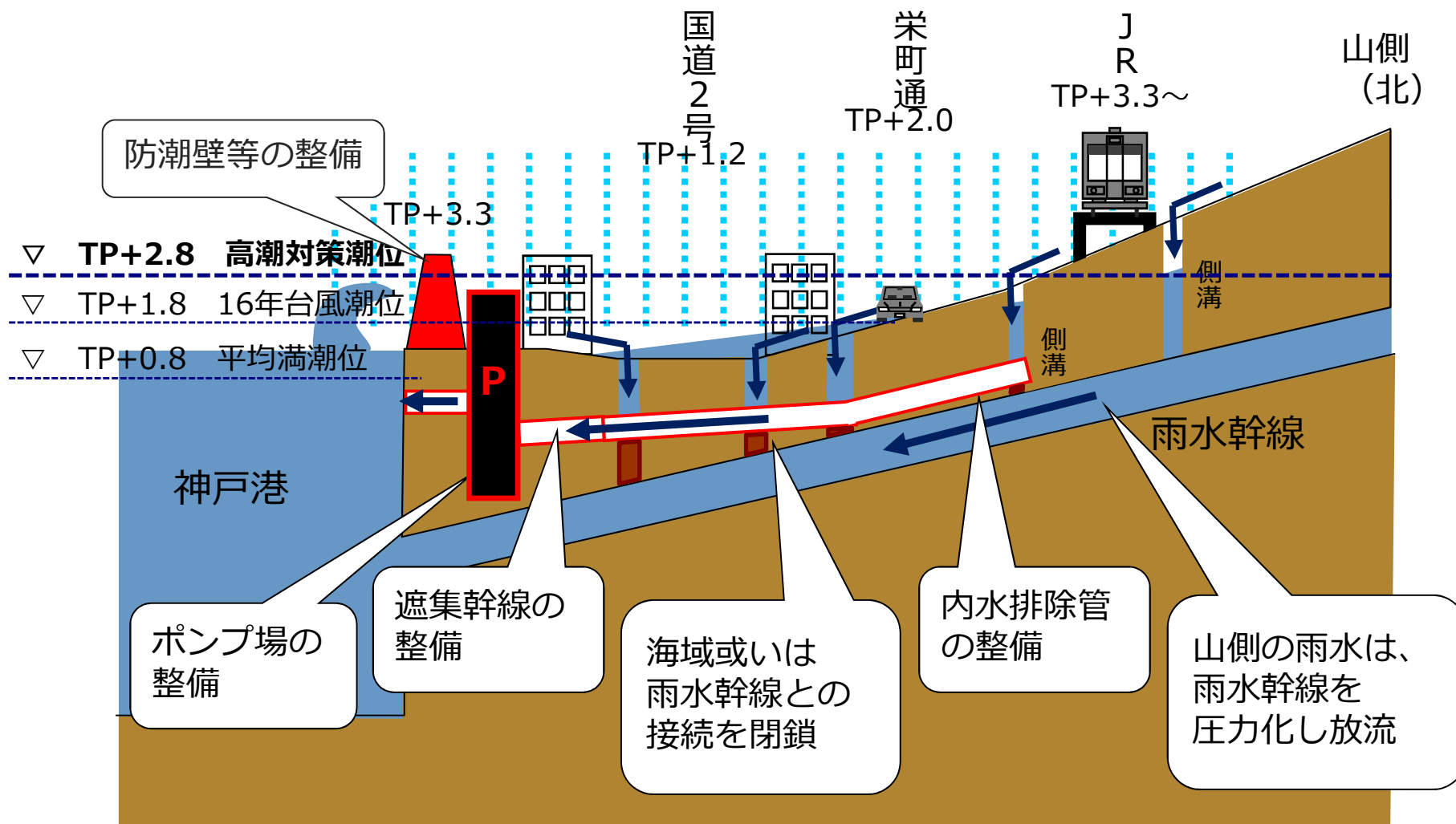
2. 神戸市の浸水対策事業



② 浸水対策事業の重点地区

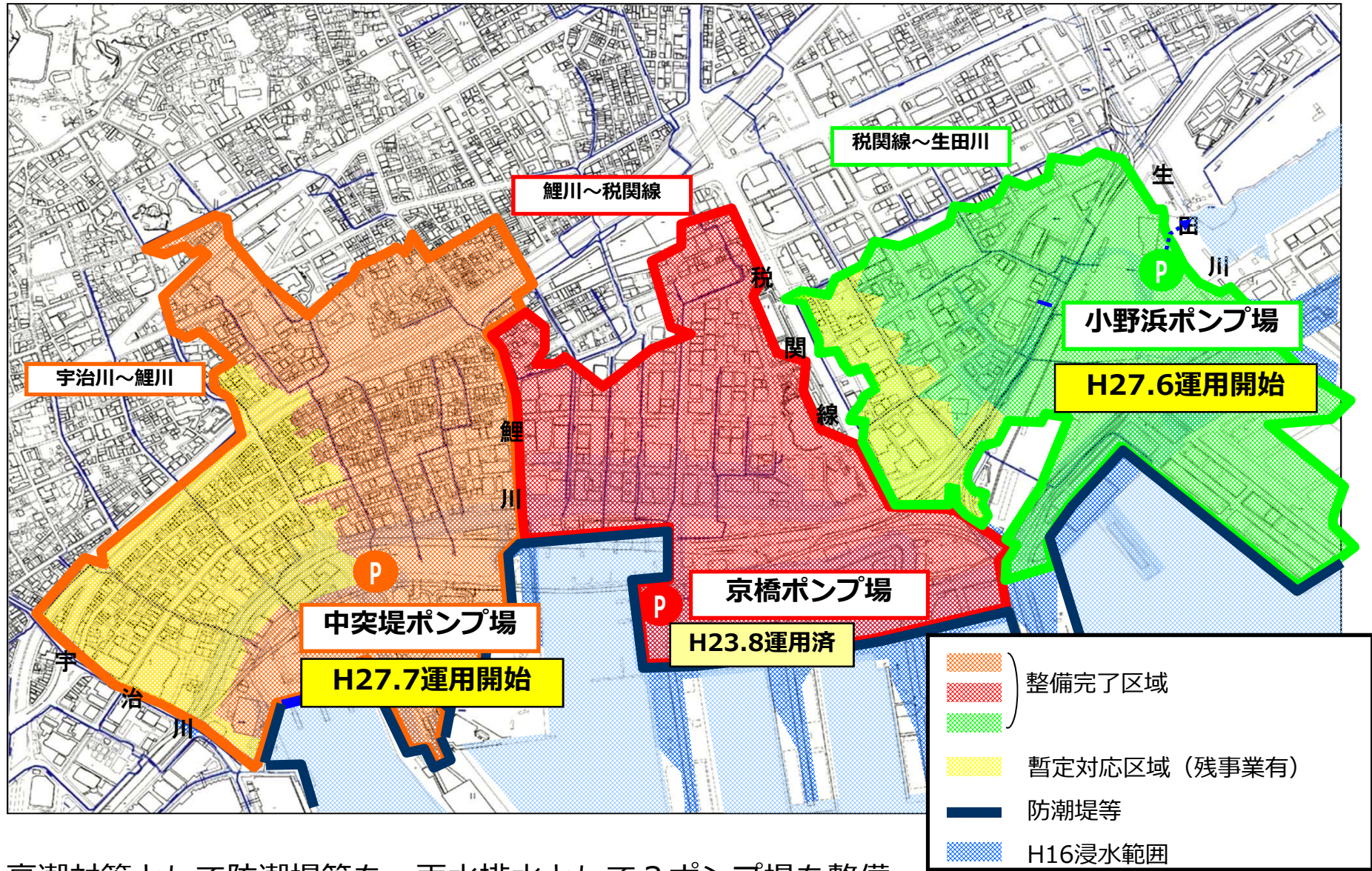


3. 三宮南地区浸水対策事業の概要



防潮堤等で高潮を止める、雨水ポンプ場で降雨を強制排除

3. 三宮南地区浸水対策事業の概要

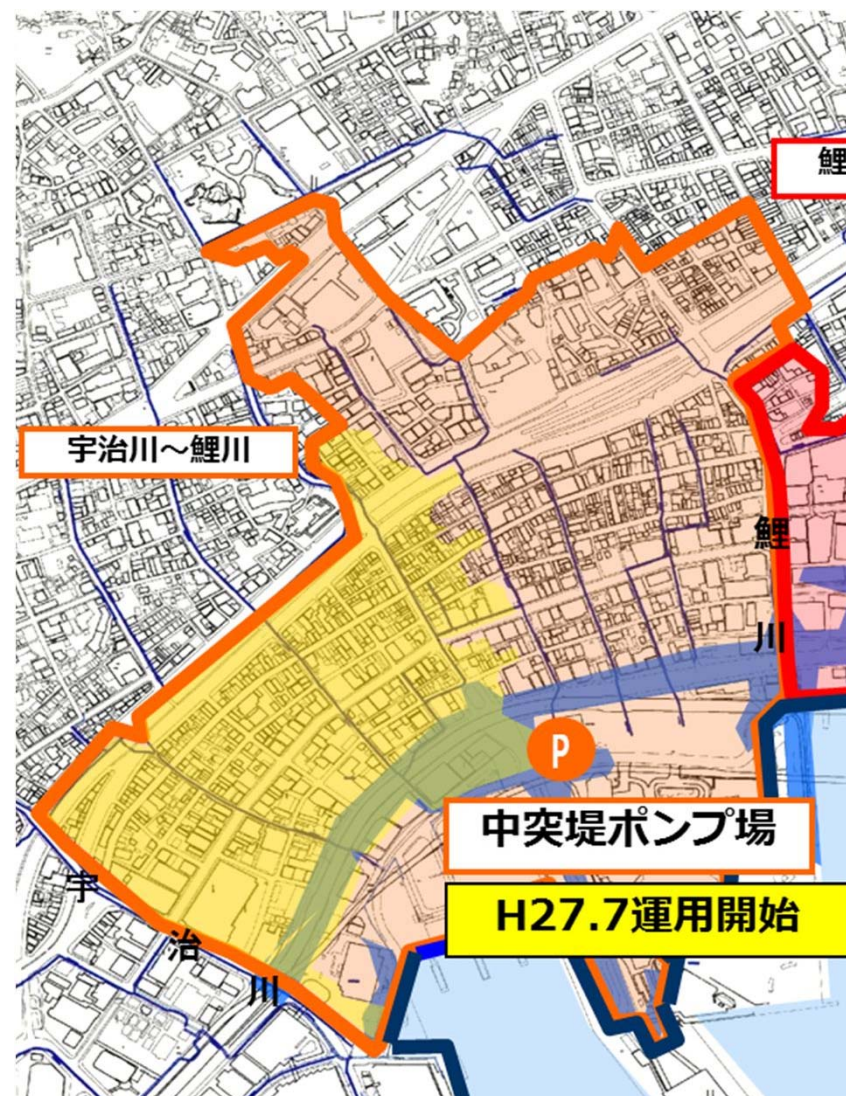


高潮対策として防潮堤等を、雨水排水として3ポンプ場を整備

3. 三宮南地区浸水対策事業の概要



中突堤ポンプ場



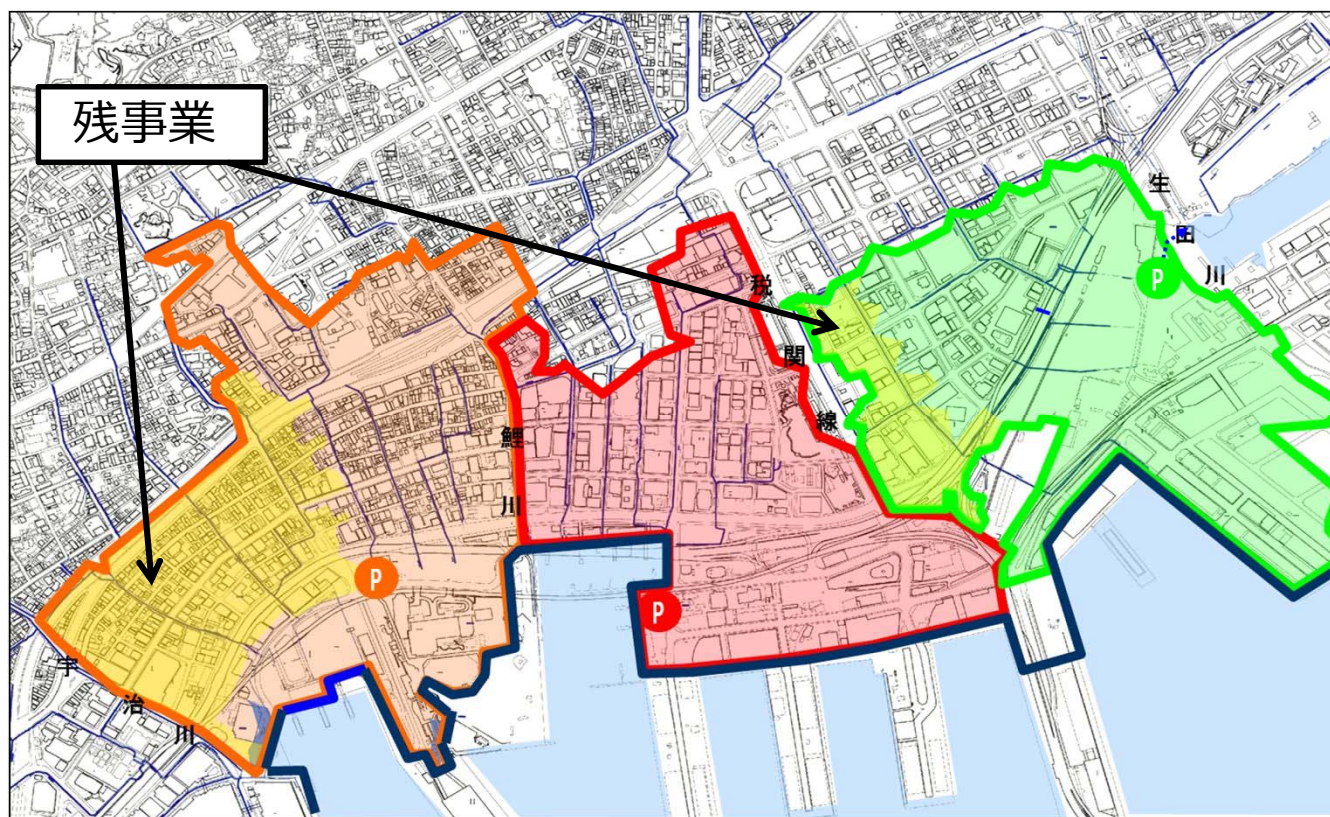
所在地	中央区波止場町 (ポートタワー北側)
対象区域	概ねJR神戸線以南の 宇治川～鰐川間 約81ha
ポンプ能力	10秒間に学校プールの水を 排出可能

3. 三宮南地区浸水対策事業の概要



今後の三宮南地区の浸水対策事業（残事業）

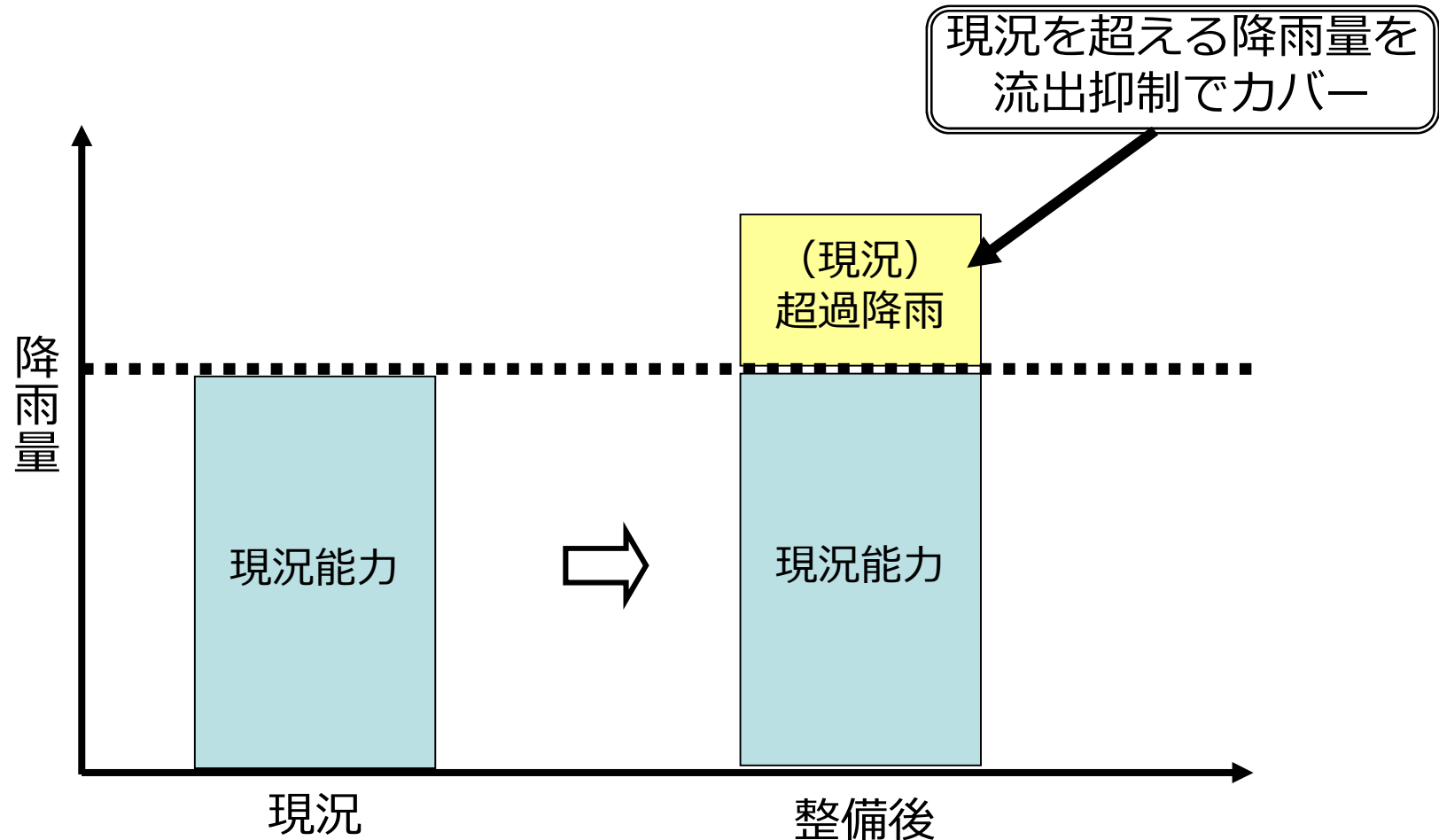
- 道路側溝の切替工事（ポンプ場へ流入する管きよに接続）
 - 遮集幹線の整備
- etc.



4. 雨水流出抑制施設について



○雨水を流出しにくくするための、**雨水流出抑制施設**の整備



現況の施設能力を超過する降雨を、雨水流出抑制施設で対応させる

4. 雨水流出抑制施設について



● 雨水貯留施設

- ・ (東灘区) 本庄遮集幹線 (貯留量 3,000m³)
- ・ (中央区) 春日野公園雨水貯留施設 (貯留量 2,000m³)
- ・ (兵庫区) 中部処理場跡地雨水貯留施設 (貯留量 5,800m³) etc.



● 簡易流出調整施設

- ・ (長田区) 真陽小学校 (貯留量 94m³)
- ・ (長田区) 真陽南さくらグラウンド (貯留量 468m³)





ご清聴ありがとうございました